

平成25年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	赤十字国際委員会(ICRC) 拠出金 (任意拠出金)		担当部局庁	国際協力局		作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度	昭和35年度開始		担当課室	緊急・人道支援課		課長 伊藤 毅		
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標Ⅶ 分担金・拠出金 具体的施策Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	(1)赤十字国際委員会規程第15条第1項 (2)ジュネーブ外交会議決議11(1949年) (3)第25回赤十字国際会議決議24(1986年)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	赤十字国際委員会(ICRC)は、ジュネーブ諸条約にその役割が明記され、人道支援分野等において、他の国際機関にはない独自の活動を行っており、国際的にも高い評価を得ている。また、ノーベル賞を3度以上受賞した世界唯一の機関である。ICRCを支援することは、紛争地域の平和と安定に資するのみならず、我が国が人道危機の解決に対して積極的であるとの姿勢を国内外に示すもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ICRCは、紛争犠牲者の保護を中心として、医療支援、食糧・生活物資等の支給、飲料水供給、衛生活動等の「緊急人道支援」を実施しており、我が国や他の国際機関が安全・能力上の制約から支援不可能な状況・場所で、時に「唯一の援助機関」として活動している。また、捕虜や被拘禁者の人道状況の監視、離散家族の安否調査等の「保護」活動や、国際人道法の普及も行っている。ICRCのこのような活動を通じて、紛争で苦しむ人々を支援する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	293	240	229	202	236	
		補正予算	4,230	3,570	3,985			
		繰越し等	—	—	—			
	計		4,523	3,810	4,214	202	236	
	執行額		4,523	3,810	4,214			
執行率(%)		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	紛争犠牲者の保護の実現 (救われた人命数)		成果実績	百万人	28.5	37.1	38.5	
	(注)機関全体の目標及び実績		達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①保健・医療分野の支援を受けた人数 ②水・衛生分野の支援を受けた人数 ③被拘束者訪問人数		活動実績 (当初見込み)	人	①5.2百万 ②10百万 ③500,928	①7.1百万 ②21.9百万 ③540,828	①7.4百万 ②22.0百万 ③540,669	—
	(注)機関全体の指標及び実績				()	()	()	()
単位当たりコスト	31.7スイスフラン/人		算出根拠	33億スイスフラン(2010年から2012年末までにICRCが支出した累積額) ÷ 104.1100万人(同時期にICRCの支援により救われた累計人命数) = 31.7スイスフラン/人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	赤十字国際委員会(ICRC)拠出金	202	236	赤十字国際委員会(ICRC)拠出金に関しては、「新しい日本のための優先課題推進枠」:236(百万円)				
	計	202	236					

